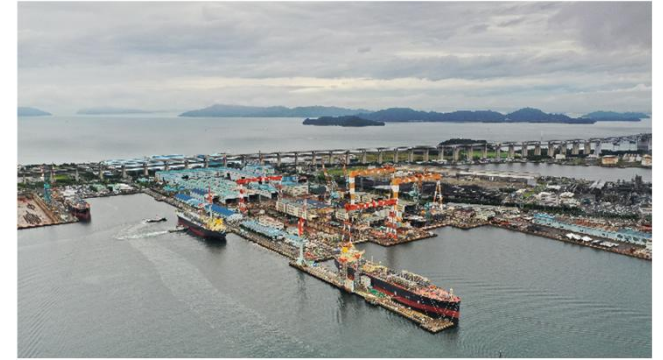


川崎重工業(株)の事業基盤強化計画(抜粋)

企業概要

- 川崎重工業グループは1896年の創立以来、130年以上にわたり、造船、機械、車両、航空、海運等の様々な事業分野に進出し、分離・合併を経て、陸・海・空にわたる総合重工業メーカーとして成長してきた。
- 祖業である造船分野においては、性能・信頼性が高く評価されているLNG船やLPG船をはじめ、コンテナ船、大型タンカー、自動車専用船などの商船ならびに潜水艦や巡視船などの官公庁船の建造を手がけるとともに、これまで蓄積した技術を基に液化水素運搬船、ガス燃料船や自律型無人潜水機等の新たな分野にも取り組んでいる。



計画の概要

- 前計画(2021~2025年度)で実施した「デジタルシップヤード化」で整備された建造に関わる各種デジタル情報を基に、建造工程の自動化・ロボット化を順次拡充していくことで、より一層の生産性向上を図る。
- これにより、膨大かつ複雑な艤装工事が必要となる液化水素運搬船やLPG/アンモニア運搬船のような環境に優しいエネルギー運搬船等の新造船のより効率的な建造体制を確立すると共に、労働人口不足の中での事業継続基盤を確固たるものにしていく。

<計画実施期間> 2026年4月~2031年3月

<実施場所> 川崎重工業(株) 坂出工場(香川県坂出市)
神戸工場(兵庫県神戸市)

